

宮城県色麻町

持続可能な未来をつくる、色麻のいま。

2022.06.01

Vol.

7

June, 2022

第 7 号

隔月 1 日発行

しかま支え合い 情報誌

特集

支えられ上手のスズメ

みんなに支えられて、
楽しく暮らしている。
心から感謝を伝えたい。

笑顔で迎えられる
みんなの居場所

色麻町の北大地区にある農家造りの一軒家。そこには、毎日のように近所の人たちが集まって来ます。その輪の中心にいるのがこの家の家主、川村てるよさん（九十三）です。家に来た人を、いつも柔和な笑顔で迎えます。「歯で袋を開けようとしたら欠けたの。ワハハ」と豪快に笑います。

「朝八時ぐらいに毎日のように来てよ。俺にとっちゃ家みたいなものだよ」と語るのは安住文雄さん（七十二）。てるよさんの息子さんとも連絡を取り合うほど親しい付き合いだそうです。「息子さんは毎日のように来てくれるし、私たちも毎日のように来るから、お互いに安心なんだよね」と語るのは、高橋吾子さん（七十九）。



てるよさんの手料理が並ぶことも。

仲間の絆力で 危機を回避



3 すべての人に
健康と福祉を

仲間たちの関係は家族並み。そんな仲間たちの絆力が発揮されたエピソードがあります。ある日の早朝四時五〇分頃、高橋吾子さん宅の電話が鳴りました。電話の主はてるよさん。何かと思いついてるよさん宅に行ってみると、てるよさんが鼻血を出していました。家の中で転んでしまったそう、床にも血が落ちていました。驚い

た高橋さんは、安住さんに連絡。状況を見た安住さんはすぐに救急車を呼びました。騒ぎを聞きつけて仲間たちが集まり、救急車が迷わないようにと手分けして所要所に立ち、救急車を誘導しました。対処が早かったため、てるよさんも適切な治療を受け、事なきを得ました。仲間の絆力を垣間見ることができました。

毎日のように来るという安住文雄さん（右）と。



いつもの仲間たち。（左から）高橋吾子さん、安住文雄さん、川村てるよさん、勝井和香子さん、助川ひで子さん、早坂かち子さん。

11年前の様子。アルバムは何冊にもなるそうです。



お互いに元気をもらおう 支え合いの理想的なカタチ

お茶や食べ物等の準備から電話番号まで、仲間たちがやってくれます。台所も使いこなし、あたたかもお店のスタッフのように手際よく準備します。「てるよさん宅が定宿になってからは、四十年以上になりますね。ずっと通ってるから、寄りやすいですよ」と話すのは常連仲間の一人、助川ひで子さん（九〇）。ここで元気をもらっているそうです。

北大地区区長の嶋亭さん（七〇）は、てるよさん宅のゴミ出しを長年してくれているそうで、てるよさんはとても感謝しておられました。「今は一人暮らしですが、みんなに支えられて、毎日楽しく暮らしています。本当にありがとうございます」と話します。

お互いに元気をもらっている支え合いの理想を見ることができました。



電話番の高橋吾子さん（左）と早坂かち子さん（右）。



思い出話をする常連の助川ひで子さん。



談笑する常連の仲間のみなさん。

地域の活動情報をお寄せください！ 生活支援コーディネーターの菅原が伺います！

こんにちは！色麻町生活支援コーディネーターの菅原一杉です！皆さんの地区で地域のために活動されている方や地区での活動、お茶飲み会や各種ものづくり等の情報がありましたら、4ページ下段の連絡先までご連絡ください。生活支援コーディネーターの菅原が取材にお伺いし、支え合



色麻町社会福祉協議会
色麻町生活支援コーディネーター

すがわらかずすぎ
菅原一杉

い情報誌にてご紹介させていただきます。皆さんの地区の活動が、よりよい社会づくりに貢献していきます。ご協力よろしくお願いたします！

EYE'S



●ふれあいは一と訪問お弁当配達日● 今月は23日（木）24日（金）です！！

町内の七十五才以上の一人暮らしの方のお宅に、協力員さんが訪問する「ふれあいは一と訪問」。六月はお弁当配達の日になっています。配達日は二十三日の木曜日と、翌二十四日の金曜日になっています。いずれもお昼時にお伺いします。ご注文された方のお宅にお持ちしますので、お楽しみに！

ふれあいは一と訪問



色麻町社会福祉協議会

このマークが目印です。

生活支援コーディネーターのホームページが開設されました

この度、色麻町生活支援コーディネーター事業のホームページが開設されました。

色麻町の住民活動の紹介が中心となっており、見やすい構成になっています。随時お知らせも発信して参りますので、ぜひご覧ください。

ご覧になる際は、下記のアドレスにアクセスするか、QRコードをお読みいただき、ご覧ください。また、「色麻町生活支援コーディネーター」で検索していただいても大丈夫です。

色麻町生活支援コーディネーターホームページアドレス

<https://shikama-sasaeai.com/>

色麻町生活支援コーディネーターホームページ

QRコード



コ 生 色
ー 活 麻
デ 支 町
ィ 援
ネ ー
ー タ
ー



色麻町で、
自分らしく暮らし続ける。

登録型お茶っこ会支援助成金のお知らせ

町内で高齢者等の集いの場として「お茶っこ会」の開催を年間10回以上行っている5名以上（5世帯以上）の任意団体様に、経費の一部を助成いたします。（※各支部で行っている、「お茶っこ会」は除きます。）高齢者が住み慣れた地域の中で、安心して暮らせるよう支援する様々な活動を対象としており、文房具代、弁当代、茶菓子代、印刷代、光熱水費、ボランティア保険料等の経費が対象となります。

助成総額は60,000円で、1団体につき10,000円を上限として助成いたします。申請用紙等は、本会事務局窓口でお受け取りになるか本会ホームページよりダウンロードしてください。令和4年4月1日から受付開始しております。

詳しくは、色麻町社会福祉協議会まで（tel. 0229-65-2260）お問い合わせください。

申請用紙等ダウンロードページ URL

<https://www.shakyo.or.jp/hp/article/index.php?s=287&m=1823>

申請用紙等ダウンロードページ QRコード



しかま支え合い情報誌 vol.7

発行：社会福祉法人色麻町社会福祉協議会

〒981-4122 宮城県加美郡色麻町四竈字杉成 27-2

TEL：0229-65-2260 FAX：0229-66-1713

E-mail：shikama.shakyo@vesta.ocn.ne.jp

URL：<http://www.shakyo.or.jp/hp/287/>

しかま支え合い情報誌は、色麻町生活支援体制整備事業の一環として発行しています。